



「漁師図鑑」、パッケン賞受賞

■パッケン賞に選ばれる

「地域プロモーションアワード2022」パンフレット部門において、にかほ市の「漁師図鑑」が「パッケン賞」に選ばれました。

この地域プロモーションアワードは、自治体などが地域の魅力を国内外に発信するのを応援するために地域活性化センターが設立したものです。

今回の「パッケン賞」は7つの賞のうちの一つで、審査委員のひとり、お笑い芸人パッケンの名前を冠した賞です。漁師図鑑が選ばれた理由については、「最近の各地のパンフレットは、住民の笑顔や生き方を紹介するもの、この人に会いたいと思わせるものが増えていきます。漁師図鑑は、地元の自慢の漁師を図鑑にまとめた面白パンフです」とのパッケンのコメントから見てとることが出来ます。

■制作の意図

今回の漁師図鑑は市からの「漁業の魅力発信」というオーダーに基づいて「わかばにかほ(旧上浜小学校)」を拠点に



写真上…漁師図鑑ロゴ
写真下…漁師図鑑の表紙と紙面



活動する一般社団法人ロンドが制作したものです。ロンドではこれまで「地域の魅力発信事業」の中でさまざまな市の魅力発信に取り組んできました。今回の漁師図鑑もそのうちの一つです。

日頃から私は「水産業はにかほ市にとっての戦略産業である」と述べています。漁業は単なる産業ではありません。それは私たちの食や文化の源であり、さらにはここにいない人々をも惹きつける大きな力を持つものです。漁業の魅力を多くの人に伝えるためのツール、それが漁師図鑑です。

■魚ではなく漁師

この図鑑は魚ではなく、漁師に光をあてたものです。この図鑑に登場する漁師は15人です。ページをめくると一人ひとりの写真が出てきます。そこには趣味、好きな食べ物、嫌いな食べ物などのプロフィールも掲載されています。さながらアイドル図鑑のようですが、それとの大きな違いは登場するのがおじさんたちだということです。もちろん獲れる魚の種類や漁法なども別のページに記載されていますが、やはり全体としてユニークな仕上がりになっていると思います。

一見、この図鑑はふざけているように見えるかもしれませんが、私はずっとよく練りこまれているなと思っています。ふつう、漁業の魅力発信というテーマが与えられれば、漁業者不足、水産資源の減少といった難しい話が出てしまいがちです。かく言う私も「水産業

これまでとは違う 仁賀保高校を 作り上げるために

皆さんこんにちは。仁賀保高校生徒会です。私達生徒会は地域や市と連携しさまざまな活動を行っています。昨年は起業体験をおとして自分たちの会社を作り、会社の運営、SNSでの商品紹介などをしたり、今年1月には仁賀保地区保護育成委員の方々と成人年齢引き下げについての意見交換会をしました。

生徒会としての目標は、仁賀保高校を運動とコミュニケーションが盛んな学校にすることです。コロナ禍の影響で、昨年まで外に出て運動をするというよりは、家で友人とネットゲームなどをすることが多くなっていたと感じていました。今はコロナ禍が落ち着いてきたので、学校全体で運動をメインにした新たなイベントを企画したり、体育祭や球技大会など既存の運動イベントをもっと盛り上げていきたいと思っています。他にも意見箱を設置し、生徒があればいいなと感じている物事をどんな小さなことでも積極的に

取り組みたいと思っています。仁賀保高校への応援よろしくお祈りします！

「にかほっとにペイントピアノ『ほっこりん』」

昨年末からにかほっと内に設置されているペイントピアノ。このピアノは旧上浜小学校で使用されていたもので、本校の美術部員がペイントしました。にかほ市の未来に向けて、明るいイメージになるようにカラフルに仕上げ、描いている植物にも「希望」「幸福」「快活」などの花言葉があります。ピアノの名前は「ほっこりん」です。にかほっとへ訪れた際は、ぜひ注目してください。



秋田県立
仁賀保高等学校

当校では、ボランティア活動による地域貢献、情報発信力強化による地域の活力向上など、地域課題の解決に向け「自分たちのまちを、未来を、楽しく面白く」していくためのアイデアを形にしていく取り組みを行っています。



にかほ市長
市川雄次

写真
左:市川市長
右:審査委員長 南仲坊

は戦略産業である」などと言ってしまったているくらいです。その意味からもこの図鑑は与えられたテーマに忠実な、すぐれた作品になっていると私は感じるので

■今後の活用
今後の活用方法については大きく二つが考えられています。
一つは漁師の魅力を知ってもらうための教材としての活用です。すべての中学生にこの図鑑が配られています。これを見た子どもたちが漁師に憧れ、将来、漁師を職業として選んでくれる子どもが一人でもでてくれればいいなと思っています。

二つ目が観光での活用です。実際、たいした宣伝もしていないのに、この図鑑への問合せが増えています。ふつう観光パンフレットは、遠くの人に見てもらって、知ってもらって、来てもらうために作られます。ところが、この漁師図鑑はにかほ市に來なければもらえないといったレア感を持たせています。欲しいなら来てほしいというつくりです。逆転の発想です。そこにはきちんとした戦略が横たわっているのです。

